

山田 久教授 略歴および著作目録

略 歴

昭和 22 (1947) 年 5 月 22 日生まれ

〈学歴〉

昭和 47 (1972) 年 3 月 立教大学社会学部産業関係学科卒業
 昭和 47 (1972) 年 4 月 立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻修士課程入学
 昭和 48 (1973) 年 5 月 立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻修士課程退学
 昭和 48 (1973) 年 9 月 シカゴ大学大学院経済学部入学
 昭和 53 (1978) 年 6 月 シカゴ大学大学院経済学部 M.A. 取得
 昭和 55 (1980) 年 9 月 デューク大学大学院経済学部転入学
 昭和 59 (1984) 年 5 月 デューク大学大学院経済学部 Ph.D. 取得

〈職歴〉

昭和 56 (1981) 年 9 月 デューク大学大学院経済学部非常勤講師 (昭和 59 年 1 月まで)
 昭和 59 (1984) 年 3 月 (財団法人) 世界経済調査会専任研究員 (昭和 62 年 3 月まで)
 昭和 60 (1985) 年 4 月 埼玉大学教養学部兼任講師 (昭和 61 年 3 月まで)
 昭和 60 (1985) 年 4 月 放送大学教養学部兼任講師 (平成 2 年 3 月まで)
 昭和 61 (1986) 年 9 月 筑波大学第 3 学群国際関係学類兼任講師 (昭和 62 年 3 月まで)
 昭和 62 (1987) 年 4 月 和光大学経済学部経済学科助教授
 昭和 62 (1987) 年 4 月 (財団法人) 世界経済調査会研究員 (平成 8 年 3 月まで)
 昭和 62 (1987) 年 4 月 成蹊大学経済学部兼任講師 (平成元年 3 月まで)
 平成 3 (1991) 年 4 月 東洋英和女学院大学人文学部兼任講師 (平成 12 年 3 月まで)
 平成 3 (1991) 年 7 月 1991 年度学外研究員 (平成 3 年 9 月まで)
 平成 3 (1991) 年 7 月 カリフォルニア大学バークレー校東亜研究所客員研究員 (平成 3 年 9 月まで)
 平成 4 (1992) 年 4 月 和光大学経済学部経済学科教授
 平成 7 (1995) 年 4 月 桜美林大学経済学部兼任講師 (平成 9 年 3 月まで)
 平成 11 (1999) 年 10 月 経済学科長 (平成 14 年 9 月まで)
 平成 16 (2004) 年 4 月 和光大学経済経営学部経済学科教授 (現在に至る)
 平成 18 (2006) 年 4 月 2006 年度学術研究員 (平成 19 年 3 月まで)
 平成 19 (2007) 年 4 月 大学院社会文化総合研究科委員会委員 (平成 23 年 3 月まで)
 平成 26 (2014) 年 4 月 2014 年度サバティカル (平成 27 年 3 月まで)
 平成 27 (2015) 年 4 月 総合文化研究所長 (平成 28 年 3 月まで)

〈学会および社会における活動〉

昭和 55 (1980) 年 9 月 アメリカ経済学会 (AEA) 会員 (平成 30 年 3 月まで)
 昭和 59 (1984) 年 10 月 理論・計量経済学会 (現, 日本経済学会) 会員 (平成 30 年 3 月まで)
 平成 元 (1989) 年 10 月 国際経済学会会員 (平成 30 年 3 月まで)
 平成 12 (2000) 年 9 月 モンベルラン協会会員 (現在に至る)

著 作 目 録

1. 著書

書名	発行所	発行年
『アメリカ経済危機の本質』（共著）世界経済調査会・木内信胤編 担当「金利はなぜ高いか」	プレジデント社	昭和 60（1985）年
『当来の世界秩序を模索して—木内信胤先生米寿記念』（共著）木内信胤・世界経済調査会編 担当「日本の農業における保護主義と社会的損失」	行人社	昭和 61（1986）年
『國の個性』（共著）木内信胤編 担当「アメリカの『金融』」	プレジデント社	昭和 61（1986）年
『世界の政治システム・比較政治分析からの接近』（共著）福岡政行・青木一能編 担当「財政」	芦書房	昭和 62（1987）年
『「1992 年下期の景気見通し」（木内信胤・著）を読むために』（単著）	経済論壇社	平成 4（1992）年
『ケインズ・バーナードとその時代』（共著）和光大学経済学部編 担当「ケインズ学派的経済政からの決別」	白桃書房	平成 8（1996）年
『シュムペーター・サイモンとその時代』（共著）和光大学経済学部編 担当「資本主義は存続しうるのか」	白桃書房	平成 13（2001）年
『グローバル化の光と影』（共著）加藤義喜・青木一能編 担当「アメリカ自由主義経済の光と影—」	文真堂	平成 13（2001）年
『入門ミクロ経済学 これだけはおさえておきたい経済学のエッセンス』（共著）	実教出版	平成 20（2008）年
『入門マクロ経済学 これだけはおさえておきたい経済学のエッセンス』（共著）	実教出版	平成 22（2010）年
『これだけはおさえたい 経済学 学びのガイダンス』（監修）	実教出版	平成 26（2014）年

2. 論文

論文名	掲載誌	巻号数	発行年
Japanese Financial Policy, 1914-1940: A Monetarist Critique	Department of Economics, Duke University, Ph.D. Dissertation	(学位論文)	昭和 59 (1984) 年
レーガノミックスを支えるブレーンと経済学の新しい動向	世界経済	第 39 巻第 7 号	昭和 59 (1984) 年
戦間期日本経済の貨幣的分析一	世界経済	第 39 巻第 8 号	昭和 59 (1984) 年
戦間期日本経済の貨幣的分析二	世界経済	第 39 巻第 9 号	昭和 59 (1984) 年
戦間期日本経済の貨幣的分析完	世界経済	第 39 巻第 10 号	昭和 59 (1984) 年
米国の高金利	世界経済	第 40 巻第 9 号	昭和 60 (1985) 年
1979 ~ 1984 年の米国経済のマクロ・パフォーマンス	世界経済	第 40 巻第 10 号	昭和 60 (1985) 年
累積債務問題	世界経済	第 41 巻第 4 号	昭和 61 (1986) 年
財政危機—日米財政の比較研究	世界経済	第 41 巻第 8 号	昭和 61 (1986) 年
「戦間期」の日本経済	日本経済研究センター会報	第 529 号	昭和 62 (1987) 年
G5 会議後の為替レート	世界経済	第 42 巻第 5 号	昭和 62 (1987) 年
包括貿易法案に関する米国内の論調	世界経済	第 42 巻第 7 号	昭和 62 (1987) 年
レーガノミックスとサッチャーリズムを検証する (共著)	世界経済	第 42 巻第 11 号	昭和 62 (1987) 年
アメリカ経済失速の不安	中央公論	昭和 63 年新年特大号	昭和 63 (1988) 年
株暴落と世界経済 (共著)	世界経済	第 43 巻第 2 号	昭和 63 (1988) 年
最近の日本経済のマクロ・パフォーマンス (上)	世界経済	第 43 巻第 8 号	昭和 63 (1988) 年
「経済学」教育に関する提案	私学公論	第 23 巻第 5 号	平成元 (1989) 年
家計構造の国際比較 I. 日米比較 (共著)	家計経済研究所調査研究報告書	昭和 63 年度	平成元 (1989) 年
米国の『双子の赤字』をめぐる解釈について	経営行動	第 4 巻第 3 号	平成元 (1989) 年
為替変動が混乱させる通貨増発と物価の関連	朝日新聞 (夕刊・ウィークエンド経済)	1989 年 7 月 8 日 夕刊 8 ページ	平成元 (1989) 年
香港—通貨制度の改革	世界経済	第 44 巻第 1 号	平成元 (1989) 年
米国の『双子の赤字』問題	世界経済	第 44 巻第 8 号	平成元 (1989) 年
オーストラリアの国内航空パイロット・スト	世界経済	第 44 巻第 11 号	平成元 (1989) 年

米国経済の動向と連銀の金融政策	世界経済	第 45 巻第 8 号	平成 2 (1990) 年
日米構造協議	世界経済	第 45 巻第 9 号	平成 2 (1990) 年
マネーサプライの復権と日米経済	世界経済	第 46 巻第 4 号	平成 3 (1991) 年
経済学の吟味	経済論壇	第 38 巻第 8 号	平成 4 (1992) 年
通貨供給量伸び率の急低下	世界経済	第 47 巻第 9 号	平成 4 (1992) 年
クリントン政権の誕生	世界経済	第 47 巻第 12 号	平成 4 (1992) 年
「細川首相・クリントン大統領への公開書簡」の翻訳と解釈	エコノミスト	第 71 巻第 46 号	平成 5 (1993) 年
篠塚慎吾教授の報告に対するコメント	経営行動研究 年報	第 2 号	平成 5 (1993) 年
マネーサプライの減少とハイパワード・マネー： 1985～1992	和光経済	第 26 巻第 1 号	平成 5 (1993) 年
ハイパワード・マネーについての論争	世界経済	第 48 巻第 9 号	平成 5 (1993) 年
北米自由貿易協定成立の経過とその意義	世界経済	第 49 巻第 2 号	平成 6 (1994) 年
経済学は「國の個性」を反映したものになるのか	世界経済	第 49 巻第 3 号	平成 6 (1994) 年
アメリカの抱える問題	世界経済	第 49 巻第 4 号	平成 6 (1994) 年
『レーガノミックス』から『クリントノミックス』 へ	和光経済	第 27 巻第 2 号	平成 7 (1995) 年
アメリカの財政均衡化が与える影響	世界と議会	第 391 号	平成 8 (1996) 年
グリーンズパン連銀議長の金融政策	和光経済	第 29 巻第 2・3 号	平成 9 (1997) 年
ミクロ経済学とマクロ経済学の教育研究	東西南北	2003	平成 15 (2003) 年
ミクロ・マクロ経済学の授業研究：2001 年～2002 年度	和光経済	第 35 巻第 2・3 号	平成 15 (2003) 年
ミクロ・マクロ経済学の授業研究：2003 年度	和光経済	第 36 巻第 3 号	平成 15 (2003) 年
ミクロ・マクロ経済学の授業研究：2001 年～2003 年度	東西南北	2005	平成 17 (2005) 年
ミクロ・マクロ経済学の授業研究：2004 年度	和光経済	第 37 巻第 3 号	平成 17 (2005) 年
マネタリズムと新自由主義	和光経済	第 50 巻第 3 号	平成 30 (2018) 年

3. その他 学会発表・講演・記事等

内容	学会・講演・記事・ 掲載誌名	発行年
戦前期日本経済の貨幣的分析 (学会発表)	理論・計量経済学会大会	昭和 60 (1985) 年
ニック・ポーザンケット著「新保守主義以後」(書評)	世界経済 (第 40 巻第 2 号)	昭和 60 (1985) 年
貨幣需要と相対価格変化 (学会発表)	理論・計量経済学会大会	昭和 62 (1987) 年
アメリカの経済政策はどのように変化するか (講演録)	エグゼクティブ・アカデミック・シリーズ	平成元 (1989) 年
グリーンズパン連銀議長と米経済 (講演録)	エグゼクティブ・アカデミック・シリーズ	平成 2 (1990) 年
ドイツ統一のバランス・シートはプラス (翻訳)	エコノミスト (第 68 巻第 29 号)	平成 2 (1990) 年
ドイツ統一で EMS の前途に暗雲 (翻訳)	エコノミスト (第 68 巻第 30 号)	平成 2 (1990) 年
カリフォルニア大バークレー校にて—アメリカ経済を読む— (講演録)	経済問題研究会	平成 3 (1991) 年
デビット・M・ジョーンズ著『貨幣の政治学：グリーンズパンの連銀』(書評)	世界経済 (第 47 巻第 6 号)	平成 4 (1992) 年
ロバート・バートレー著『七年の最良の年／いかにしてそれを再現するか』(書評)	世界経済 (第 48 巻第 6 号)	平成 5 (1993) 年
経済の基礎知識に 6 項目執筆 (記事)	現代の基礎知識 (経済辞典)	平成 6 (1994) 年
新大統領と今後のアメリカ経済 (講演録)	国際関係基礎研究所	平成 8 (1996) 年
アメリカの「ニュー・エコノミー論」をめぐって (講演録)	エグゼクティブ・アカデミック・シリーズ	平成 9 (1997) 年